

講演会

「没後 10 年 萩原朔太郎の娘 葉子さんとのふれあい」

講師 光山富士子さん（前橋文学館友の会 顧問）

日時 2015 年 7 月 5 日（日）午後 2 時～午後 3 時 30 分

会場 前橋文学館 3 階ホール 対象 一般

定員 100 人（入場無料）

要申込み 2015 年 6 月 7 日（日）

午前 9 時 30 分から電話受付開始 ☎027-235-8011

葉子さんとの関わりについて

葉子さんが展覧会のイベントで当館にいらしたのを機に、2000（平成 12）年から、2004（平成 16）年にかけて、葉子さんと、前橋文学館友の会の会員の方々が、交流を持つ機会がありました。その中のお一人だった光山富士子さんが、葉子さんの思い出や関わった人のお話をさせていただきます。



2015 年 7 月 5 日（日）限定で、葉子さんの資料展示



光山富士子さんのご紹介

前橋文学館友の会 顧問
同会解説ボランティア部会・楽しく歌う会 会員
特定非営利活動法人波宜亭倶楽部理事
波宜亭倶楽部編『朔太郎と前橋』（2009 年 3 月）著者（会員との共著）



萩原葉子 1920（大正 9）年～2005（平成 17）年

小説家。詩人・萩原朔太郎を娘の目から描いたエッセイ『父・萩原朔太郎』1959（昭和 34）年で文筆家デビュー。代表作に自身を題材にした小説『葎麻の家』1976（昭和 51）年、『閉ざされた庭』1984（昭和 59）年、『輪廻の暦』1997（平成 9）年など。作家活動以外にも、ダンスやオブジェ制作等、幅広く活動。

2000 年 8 月 5 日（土）
前橋文学館ホールで